

記入例

別紙1～5のほか、案内図、施設位置図
および施設構造図、カタログなどを添付
してください。

特定施設使用届出書

〇〇年△△月××日

座間市公営企業管理者 殿

申請者

住 所 座間市緑ヶ丘1-3-1 電話番号 046-255-1111

氏 名

氏名又は名称及び法人に 株式会社 ザマシジュウカラ

あつてはその代表者の氏名 代表取締役 座間 太郎

{ 下水道法第12条の3第2項（下水道法第25条の30第1項において準用する同法第12条
下水道法第12条の3第3項（下水道法第25条の30第1項において準用する同法第12条
の3第2項）
の3第3項 } の規定により、特定施設について、次の

工場又は事業場の名称	(株)ザマシジュウカラ 座間事業所	※	届出を行う工場・事業場
工場又は事業場の所在地	座間市緑ヶ丘 1-3-1	※受理年月日	年 月 日
特定施設の種 類	71 自動式車両洗浄施設	※施 設 番 号	
△ 特定施設の構造	別紙（1）のとおり	※審 査 結 果	
△特定施設の使用の方法	別紙（2）のとおり	※備 考	
△汚水の処理の方法	別紙（3）のとおり		
△下水の量及び水質	別紙（4）のとおり		
△用水及び排水の系統	別紙（5）のとおり		

備考

1. △印の欄の記載については、別紙によることとし、かつ、できる限り、図面、表等を利用すること。
2. ※印の欄には、記載しないこと。
3. 届出書及び別紙の用紙の大きさは、図面、表等やむを得ないものを除き、日本産業規格A4とすること。

特 定 施 設 の 構 造

左欄：書くべき内容

右欄：解説

工場又は事業場における施設番号	No.1	工場で使用されている番号・呼称等 ※他の添付資料と揃えてください
特定施設番号及び名称	71 自動式車両洗淨施設	法定の番号・種別
形 式	○×社 ◇○型	カタログ等の記載
構 造	鉄骨フレーム アルミ外版 構造図は、別添○○のとおり	おもな素材等
主 要 寸 法	H W L 2,580×3,240×1,520	設備のサイズ カタログ等の数値または実測
能 力	普通自動車標準洗車 1台/160秒	おおまかな生産能力等
配 置	店舗横 配置図は、別添○○のとおり	工場・事業場内における配置
設 置 年 月 日	○○年6月1日	特定施設を設置した年月日
工事着手予定年月日		空欄
工事完成予定年月日		空欄
使用開始予定年月日		空欄
その他参考となるべく事項		

備考 配置の欄には、当該特定施設及びこれに関連する主要機械又は主要装置の配置を記載すること。

特 定 施 設 の 使 用 の 方 法

左欄：書くべき内容

右欄：解説

工場又は事業場における施設番号		No.1		工場で使用されている番号・呼称等 (別紙1と同じ)	
特定施設番号及び名称		71 自動式車両洗浄施設		法定の番号・種別 (別紙1と同じ)	
設置場所		店舗横 配置図は、別添〇〇のとおり		設備がある場所	
操業の系統		ブラシ洗車→ブロー→拭取り (資料〇フローチャートのとおり)		何を行うのか簡単に記載	
使用時間間隔		断続		稼働時間帯	
一日当りの使用時間		14 時間(AM7:00～PM9:00)		一日の合計使用時間	
使用の季節変動		なし		変動があれば記載 (6～8月に使用増 など)	
原材料(消耗資材を含む。)の種類、使用方法及び一日当りの使用量		洗剤:一台 100ml、1 日 25 台を 想定し、2.5L ワックス:一台 25ml、1 日 20 台 を想定し、0.5L		使用薬剤や商品名等を記入 必要に応じてカタログや安全データシート (SDS) を添付	
汚 水 の 水 質	種類・項目	通常	最大	通常	最大
	PH	7	8	・ 特定施設から出る汚水の水質・水量を記入します ・ ここに記載するのは汚水処理の前なので、基準を超えていても構いません ・ 循環利用や、回収して産廃処理する場合であっても、その廃液の水質を記入してください	
	BOD	100	200		
	S.S	15	30		
	N-ヘキサン(鉱油類)	2	4		
	沃素消費量	10	20		
	水温	20	30		
汚 水 等 の 量 (m3／日)		通常	最大		
		1.5	3.0		
その他参考となるべき事項					

備考 汚水の水質の欄には、当該特定事業場から排除される下水に係る水質基準が定められた事項について記載すること。

汚 水 の 処 理 方 法

左欄：書くべき内容

右欄：解説

工場又は事業場における施設番号	工程系排水処理施設				汚水を処理する施設について、 工場で使用されている番号・呼称等 ※他の添付資料と揃えてください				
処理施設の設置場所	別添〇〇図のとおり				事業場内の位置				
設 置 年 月 日					既設の場合に記入				
工事着手予定年月日	〇〇年6月1日				汚水を処理する施設を新設する場合、記入				
工事完成予定年月日	〇〇年7月1日								
使用開始予定年月日	〇〇年7月5日								
種 類 及 び 形 式	●●社製 AA-000-0000				カタログ等の記載を転記				
構 造	鉄骨 FRP 外板				素材、構造など				
主 要 寸 法	L W H 1槽 400×600×800 合計(4槽) 1600×600×800				汚水を処理する施設の設備のサイズ				
能 力	2,034 m³/日				単位時間当たりの処理能力				
処 理 の 方 法	連続式(油水分離)				汚水の処理方式				
処 理 の 系 統	別添〇〇図のとおり				記載が難しければ資料に誘導でよい				
集水及び導水の方法	別添〇〇図のとおり				記載が難しければ資料に誘導でよい				
使 用 時 間 間 隔	断続				稼働時間帯				
一日当りの使用時間	14 時間(AM7:00~PM9:00)				一日の合計稼働時間				
使用の季節的変動	なし				変動があれば記載 (6~8月に使用増 など)				
消耗資材の一日当りの用途別使用時間	なし				実際に消費する資材				
汚水の 水質及び 汚水量	種類・項目	通 常		最 大		通 常		最 大	
		処理前	処理後	処理前	処理後	処理前	処理後	処理前	処理後
	PH	8	7	9	8				
	BOD	200	100	400	200	・事業場から排出される可能性のある物質を記載します ・「処理後」の水質が基準内に収まっている必要があります			
	n-ヘキサン	12	2	24	4				
	SS	60	12	150	30				
	沃素消費量	20	10	40	20				
汚水量(m³/日)	1.5	1.5	3.0	3.0					
残さの種類、1月間の種類別生成量及び処理方法	砂・泥・ワックス等 15Kg/月 産業廃棄物として回収・処分				汚水処理により生じる残さの処分方法				
汚水の排除方法	生活排水と合流後公共汚水桧へ排出				「公共下水道へ排除」など				
その他参考となるべき事項	汚泥処理業者 座間花子商会(株)				産業廃棄物処理業者など				

備考 1 汚水の水質の欄には、当該特定事業場から排除される下水に係る水質基準が定められた事項について記載。

2 汚水の排除方法の欄には、排出口の位置及び数ならびに排出先を含め記載すること。

下水の量及び水質

左欄：書くべき内容

右欄：解説

工場又は事業場における施設番号		公共污水樹			
排出口における下水の水質	種類・項目	通常	最大	通常	最大
				・ 処理後の水質を記載します ・ 別紙 3「汚水の水質及び汚水量」の処理後と同じ数値になるように記載してください ※ただし、排出口にて生活排水と合流して水質が変わる場合は、<u>合流後の水質を記載</u> ・ 下水の量は、最終的に排出口に流れる量を記載します (生活排水と合流する場合、合流後の量を記載)	
	水温	20	30		
	PH	7	8		
	BOD	100	200		
	n-ヘキサン(鉱油)	2	4		
	SS	12	30		
	沃素消費量	10	20		
下水の量 (m ³ /日)		通常	最大	通常	最大
		2.0	3.5		
その他参考となるべき事項					

備考 排出口における下水の水質の欄には、当該特定事業場から排除される下水に係る水質基準が定められた事項について記載すること。

用 水 及 び 排 水 の 系 統

用水及び排水の
系統

作業の系統図

```
graph LR; A[洗浄] --> B[フロー]; B --> C[拭取り];
```

排水処理系統図

事業系排水

```
graph TD; A[洗浄] --> B[油水分離層]; B --> C[監視槽];
```

生活系排水

```
graph LR; A[手洗い・台所] --> C[公共汚水槽];
```

用水排水のバランスシート（単位 m^3 ）

【通常(最大)】

```
graph LR; A[水道水  
2.0 (3.5)] --> B[事業用  
1.5 (3.0)]; A --> C[生活用 0.5]; B --> D[公共下水道  
2.0 (3.5)]; C --> D;
```

用途別
用水使用量

用 途	使 用 水	用水使用量
事業用	水道水	1.5 (3.0)
生活用	水道水	0.5
	・使用量、排水量は通常時および最大値の数値を記載してください ・枠内の記載が難しければ、資料に誘導で構いません	
総合計		2.0 (3.5)

用排水のバランスシートは、添付 図のとおり

その他参考事項

1 添付図面等一覧

No.	名 称
	特定施設の構造、使用の方法
資料 1	特定施設の設置場所
資料 2	特定施設及び関連主要施設の配置図
資料 3	特定施設の構造図
資料 4	特定施設を含む操業の系統
	汚水の処理の方法、下水の量及び水質、用水及び排水の系統
資料 1	汚水等の処理施設の設置場所
	汚水等の処理までの導水の方法
	用水及び排水の系統
	汚水等の公共下水道への排除の方法
資料 5	汚水等の処理施設の構造図(工程系)
資料 1	汚水等の処理施設の配置図
資料 6	汚水等の処理施設の系統
資料 7	汚水等の処理施設の設計計算書
資料 8	用排水のバランスシート
資料 9	その他、案内図

2 届出理由

届出理由の詳細を記載してください。

事業場所在地が公共下水道の処理区域となり、公共下水道を使用することとなったため。

神奈川県環境保全課に確認してください。

3 他法令による許可・届出の状況(手続)

水質汚濁防止法	不要・未了・完了

4 特定施設一覧

水質汚濁防止法施行令別表 1 の番号又はダイオキシン特別措置法施行令別表第 2 の番号	特定施設の名称	届出前の台数	設置台数	廃止台数	今回届出後の台数
71	自動式車両洗浄機	1	0	0	1

5 工場等概要

資本金	2000 万円	従業員数	11 名	業種(細分類)	5931 ガソリンスタンド
主要製品	小売のみ			操業時間	AM7:00~PM9:00
用途地域	準工業	敷地面積	600 m ²	建物面積	60 m ²
担当部課名	総務課	担当者名	座間 花子	電 話	046-255-1111